



主催：NPO法人築地居留地研究会
後援：東京都中央区

「築地時代の工手学校—工学院大学のルーツ」

工学院大学の前身である工手学校は明治20（1887）年10月31日創立、当初は京橋区木挽町の東京商工徒弟講習所を借りて仮校舎としていたが、21年5月7日に京橋区南小田原町4丁目7,8番地の築地病院の建物と敷地を購入、以後、大正12（1923）年の関東大震災で校舎が全焼し、新宿区淀橋町に移るまで築地の地で技師と職工とをつなぐ「工手」の養成にあたった。「築地の泉わききいでて」と今も校歌に歌われる築地時代の工手学校生の姿を国木田独歩「非凡なる凡人」や武田米吉「職人」などを手掛かりに振り返ってみたい。

日時：平成27年11月28日（土）14:00～16:00

場所：聖路加国際大学 602号室

講師：吉田 司雄 氏（工学院大学教授）、作家

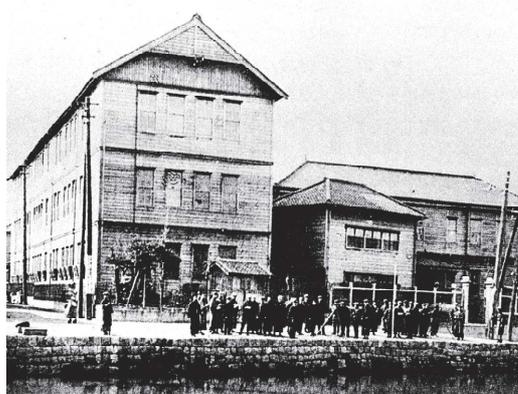
参加費無料

講演会終了後、エクスカージョン及び講師を囲んでの茶話会を行います。

茶話会参加費は ¥500



工手学校生徒募集広告



大正時代の築地校舎写真



著書

問い合わせ先 ミズノプリンティングミュージアム内（TEL. 03-3551-7595）担当村山